

○海外留學生

留學生ノ初マルヤ初メ外務省ノ所管ニシテ其後大學ノ所管ニ隸セリ當時學制未定ラヌ教則未整ハス蓋シ維新ノ際國家多事尙之ニ及フニ違アラケレハナリ是ニ於テ一時之ヲ鼓舞セシカ爲メ選擇ノ法或ハ苟且ニ出ルヲ以テ生徒年齡ノ少長ヲ問ハス身體ノ強弱ヲ檢セス官省ノ特權ヲ以テシ若クハ各藩ノ適宜ヲ以テ派遣スル者尠シトセス之ヲ要スルニ初學近小ノ事ヲ成シテ空シク莫大ノ國財ヲ耗ス膏ニ益ナキ而已ナラス更ニ幾多ノ弊害ヲ釀成スルニ至ル抑昔日ニ於テハ不得止ノ事情ニ出ルト雖モ實地教育ノ方法忽諸ニ付スヘカラカレ今日ニ至テハ總テ學制ニ準據シ以テ之ヲ處分セスンハアル可ラス留學資ノ如キモ其出ル所同シカラサレハ金額モ亦隨テ差異ナキヲ得ス明治五年八月學制ヲ定ムルニ當テ留學生ノ進止悉ク文部省ノ所管ニ歸セリ時ニ教育ノ方法ヲ釐革シ學術ノ進歩ヲ圖リ四民ヲシテ等シク心身上ノ洪益ヲ得セシメント欲スルノ秋ニ際シ獨リ留學生ノミ其初選擇ノ公當ナラサルヲ知テ依然不問ニ置ク可ラサル者アリ方今各國在留ノ生徒ヲ調査スルニ全員三百七十三人ニシテ官費生二百五十八人ナリ而シテ其資金各差異アリト雖モ概スルニ一年ノ

學費金二十五萬圓ニ及フ即其生徒タル者前ニ論スル如ク選擇ノ法其宜ヲ得サル者ニ鉅多ノ官費ヲ消耗スル其措置公平穩當トスルヲ得ス是乃官費生徒ハ一旦悉ク廢スルノ處分アル所以ナリ

○編書事務

初メ文部省ヲ置クヤ學科教授ノ書闕乏ナルヲ以テ明治四年九月編輯寮ヲ置キ教科書ヲ編輯ス是ヨリ先キ大學ニ語彙掛アリ俗譯掛アリ南校ニ反譯局アリ東校ニ醫書反譯掛アリ是ニ至リ盡ク之ヲ編輯寮ニ收ム而シテ編輯ノ所ノ書其宜ヲ得サルヲ以テ五年九月遂ニ之ヲ廢シ更ニ東京師範學校中ニ於テ之ヲ編輯シ又別ニ省中ニ於テ編書課ヲ置キ以テ專ラ教科書ノ闕乏ヲ補フ其既ニ刻スル所ノ書數左ノ如シ

政法書	反譯和文	十三部	三十二冊	經濟書	同	一部	七冊
物理書	同	二部	五冊	化學書	同	一部	二冊
植物書	同	二部	二枚	地理書	同	四部	書二十一冊 圖四帖
農學書	同	一部	八冊	地質學	同	一部	二冊

醫書同	二部二冊	兵書同	三部七冊
修身學同	一部二冊	歷史編輯和文	六部二十一冊
文典同	一部二冊	讀本同	一部一冊
習字書同	一部一冊	書學書同	二部三冊
字書同	一部七冊	統計學	反譯和文一部一冊
語學書	編輯和文二部二冊	單語篇同	二部五冊
圖	反譯和文二部二冊	雜書	編輯和文二部二冊
幼童翫嬉品	七種器畫六二種	地球儀	一基

○准刻事務

總計	書五十二部	二百三十三冊
地球儀一基	器畫六二種	二種
地球儀一基	器畫六二種	二種
地球儀一基	器畫六二種	二種

准刻ノ事ハ明治二年二月開成學校ニ於テ新聞紙出版ヲ檢査スルニ始リ五月ニ至リ書籍印行檢査ノ事務ヲ管ス明治三年二月史官ノ所管トナリ明治四年八月復タ當省ノ所管トナル明治五年正月彙ニ公布スル出版條例ヲ改定シ之ヲ全國ニ頒布ス明治二年以降明治六年十二月ニ至リ書籍新聞紙ノ出版ヲ許可スルモノ其數左ノ如シ

書籍

明治四年八月ヨリ十二月迄

著述	七十三部	計九十六部
翻譯	二十三部	
同	五年分	計八百二十一部
著述	六百二十二部	
翻譯	百六十四部	
再刻	十一部	
翻刻	二十四部	

准刻事務